

利用規約

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）はプライム・ストラテジー株式会社（以下、「当社」といいます。）が提供するアプリケーション「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」の利用条件を定めるものです。本サービスの利用者は、本規約の内容に同意のうえ、本規約に従いサービスをご利用いただきます。

第1条（インストール条件）

- 1 本サービスの利用者は当社が定める所定の手続により本規約に同意したうえで「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」のインストールを行うものとします（本規約に同意し、インストールを行った者を以下「ユーザー」とします）。
- 2 ユーザー以外の者、または過去に本規約に違反した者は「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」を利用することはできません。

第2条（本サービス）

- 1 ユーザーは「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」の最新版を利用することができます。
- 2 当社はユーザーに対し常に「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」の最新版を提供します。
- 3 当社は、ユーザーに通知することなく、本サービスの内容を変更することができるものとします。本サービスの変更に伴い、ユーザーに不利益または損害が発生したとしても、当社はその理由を問わず一切の責任を負わないものとします。

第3条（本サービス利用の対価）

- 1 本サービス利用の対価はクラウド事業者を通じて当社が掲示する金額とします。
- 2 ユーザーは本サービス利用の対価を、クラウド事業者を通じて当社に支払うものとします。
- 4 期間満了、解除、失効及びその他理由の如何を問わず、サービス利用契約が終了した場合でも、当社は、ユーザーがサービス利用契約に基づき既に当社に対して支払ったサービス利用料その他の金員について、一切返金をいたしません。

第4条（ユーザーサポート）

- 1 ユーザーが当社に対し、「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」の利用に関する問い合わせその他のユーザーサポートを求める場合、「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」の機能を通じて、サポートに必要な情報を当社に開示したうえで行うものとし、これ以外の媒体を通じたサポートの申し込みを行うことはできません。
- 2 当社よりユーザーに対する回答・連絡については、ユーザーが「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」のインストールの際に提供されるプラグイン上で行うものとします。

第4条（秘密保持義務）

- 1 当社は、本規約4条記載のサポートのために必要な情報のほか、本サービスに関連しユーザーから開示される一切の情報（以下「秘密情報」という。）を厳重に保管・管理します。
- 2 前項の定めにかかわらず、以下各号に該当する情報については秘密情報に含まれません。
 - (1) 開示される以前に公知であったもの
 - (2) 開示された後に、当社の責めによらずに公知となったもの
 - (3) 開示される以前から自ら保有していたもの
 - (4) 正当な権限を有する第三者から秘密保持義務を負わずに適法に知得したもの
 - (5) 開示された情報によることなく、独自に開発したもの
- 3 当社は、ユーザーの事前の承諾なく、秘密情報を第三者に開示、漏洩することはありません。ただし、裁判所からの命令、その他法令に基づき開示等が義務付けられる場合は、当該法令の定めに基づく開示先に対し必要な範囲内に限り、開示することができます。

第5条（秘密情報の管理）

- 1 当社は、秘密情報について、本サービスを提供する目的の範囲でのみ使用するものとし、目的の範囲を超える使用、複製、改変が必要なときは、事前に相手方から承諾を受けるものとします。
- 2 当社はユーザーより開示された秘密情報を、本サービスの目的のために知る必要のある役員、従業員又は再委託先に限り開示できます。この場合、当社は、本規約に基づき当社が負担する秘密保持義務と同等の義務を、当該役員及び従業員に遵守させるものとします。

第6条（再委託）

当社は、本サービスの全部又は一部を第三者に再委託することができます。当社が、本サービスの全部又は一部を第三者に再委託した場合、当該第三者の選任及び監督についてユーザーに対して責任を負います。

第7条（反社会的勢力の排除等）

1 本規約において、反社会的勢力とは、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者を指します。

2 ユーザーおよび当社は、次の各号のいずれかに該当しないこと、将来にわたっても該当しないことを表明・保証し、確約します。

- (1) 反社会的勢力に該当する場合又は該当していた場合
- (2) 自己又は第三者の利益を図る目的をもってするなど反社会的勢力を不当に利用した場合
- (3) 資金、便宜を提供するなど反社会的勢力に利益供与をした場合
- (4) 反社会的勢力と密接に交際をするなど社会的に非難されるべき関係がある場合
- (5) 暴力的ないし威迫的な犯罪行為を行ったとして公に認識され、若しくは報道その他により一般に認識された者である場合又はこの者とかかわり、つながりのある者である場合
- (6) 自ら又は第三者を利用して、相手方に対して、詐術、暴力的行為、又は脅迫的言辞を用いた場合
- (7) 自ら又は第三者を利用して、風説を流布し、偽計又は威力を用いて、相手方の名誉や信用等を毀損し、又は毀損するおそれのある行為をした場合
- (8) 前各号に準ずる場合及び前各号に準ずる行為をした場合

3 ユーザーまたは当社が、前項の表明保証ないし確約に違反した場合、相手方は、事前に通知又は催告することなく、サービス利用契約の解除をすることができます。

4 ユーザーまたは当社が前項の規定によりサービス利用契約の全部又は一部を解除した場合には、相手方に損害が生じてもこれを一切賠償することを要しません。また、本条の違反により相手方に損害が生じたときは、当該違反した当事者がその一切の損害を補償しなければなりません。

第8条（解除）

1 ユーザーおよび当社は、相手方が、以下の各号のいずれかの事由に該当する場合、事前に通知又は催告することなく、サービス利用契約の解除をすることができます。

- (1) 支払停止若しくは支払不能となり、又は破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始若しくはこれらに類する手続の開始の申立てがあった場合
- (2) 自ら振出し、若しくは引受けた手形又は小切手が1通でも、不渡りの処分を受けた場合

- (3) 差押、仮差押、仮処分、強制執行又は競売の申立てがあった場合
- (4) 租税公課の滞納処分を受けた場合
- (5) 金融機関から取引停止の処分を受けたとき
- (6) 財産状態が悪化し又は悪化するおそれがあると認められる相当の事由があるとき
- (7) 本契約に定める条項につき重大な違反があったとき
- (8) その他、本契約を継続し難い重大な事由が生じたとき

2 前項に関わらず、当社は、ユーザーが本契約の条項の一つに違反したときにおいて、催告後、14日間経過した時点で、当該違反の是正がなされない場合には、サービス利用契約を解除することができます。

3 サービス利用契約の解除は、ユーザーまたは当社の相手方に対する損害賠償請求権の行使を妨げないものとします。

第9条（サービスの終了）

- 1 当社は30日前までに当社が適当と判断する方法でユーザーに通知することにより、本サービスの提供を終了させることができるものとします。
2. 当社は、本サービスの終了によりユーザーに生じた損害について一切の責任を負いません。

第10条（禁止事項）

- 1 ユーザーは本サービスの利用にあたり、次の行為を行ってはなりません。
 - (1) 法令又は本規約に違反する行為
 - (2) 当社又は他のユーザーその他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシー、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
 - (5) 当社のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為
 - (6) 本サービスの運営を妨害する行為
 - (7) 当社に虚偽の情報を提供する行為
 - (8) その他、当社が不適切と判断する行為
- 2 当社は、ユーザーが前項各号の行為を行い又は行うおそれがあると当社が判断した場合には、事前の通知なく、ユーザーに対して本サービスの全部もしくは一部の利用を制限しまたはサービス利用契約を直ちに解除することができるものとします。

第11条（期限の利益の喪失）

ユーザーが前条第1項各号に一つでも該当したときは、当然に、当社に対して負担する一切の債務につき期限の利益を失うものとします。

第12条（不可抗力）

当社が、サービス利用契約上の義務を、以下各号に定める事情に起因して遅滞若しくは不履行となったときは、本契約の違反とせず、その責を負わないものとする。

- (1) 自然災害、火災及び爆発
- (2) 伝染病
- (3) 戦争及び内乱
- (4) 革命及び国家の分裂
- (5) 公権力による命令処分
- (6) 暴動
- (7) 乙の管理外であるシステム及び通信障害、システム等のメンテナンス、停電
- (8) 労働争議
- (9) 乙の責に帰すべき事由によらずに本サービスの提供ができない場合
- (10) その他前各号に準ずる事態

第13条（権利譲渡等の制限）

ユーザーは、サービス利用契約上の地位又はサービス利用契約に基づく権利義務の全部又は一部を、第三者に譲渡し又は担保の目的に供することはできません。

第14条（規約の変更）

- 1 当社は、当社の裁量により本規約を変更できるものとします。
- 2 当社が本規約を変更した場合には、その内容を当社ウェブサイトに掲示するものとします。変更後の規約は、当該掲示に別段の記載がない限り、変更内容が掲示されたときから1週間後に有効となるものとします。
- 3 ユーザーが第2項の規約の変更不同意の場合は、「KUSANAGI Business Edition on FJcloud」ならびに「KUSANAGI Premium Edition on FJcloud」をアンインストールし本サービスの利用を停止してください。本規約の変更の効力発生後に、本サービスを利用した場合、利用者は本規約の変更同意したものとみなします。

第15条（存続条項）

第3条（本サービス利用の対価）、第4条（秘密保持義務）、第5条（秘密情報の管理）、第7条（反社会的勢力の排除等）本条、第16条及び条項の性質に鑑み当然に存続すべき規定は、期間満了、解除、解約、その他理由の如何を問わず本契約が終了した後もその効力を存続するものとします。

第16条（分離可能性）

本規約の条項の一部が、管轄権を有する裁判所によって違法又は無効と判断されたとしても、残部の条項は、その後も有効に存続するものとします。

第17条（言語、準拠法及び管轄裁判所）

- 1 本規約の正文は日本語です。英語その他の言語で提供される規約はあくまで参考であり、本規約の解釈に影響を与えません。
- 2 サービス利用契約の準拠法は日本法とし、サービス利用契約に起因し又は関連する一切の紛争については、日本国東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。